

深谷市誕生10周年記念冠事業  
企画課 (☎574 - 8096)

深谷市誕生10周年記念事業の1つとして、冠事業を募集しています。地元のお祭りや会社のイベントに『深谷市誕生10周年記念』と冠し、一緒に深谷市を盛り上げませんか。記念事業の実施期間は平成28年3月31日(木)までです。申請はゆとりをもってご申請ください。

使って  
みませんか?

深谷市誕生10周年記念シンボルマーク

深谷市誕生10周年冠事業の承認を受けると、深谷市誕生10周年記念シンボルマークを使用することができます。



こうした取り組みを通して、市民の皆さんにとっこれまで以上に深谷といっまちが親しみを帯びるまちになることを目指します。

# 深谷市誕生10周年

## The 10th Anniversary of Fukaya city

深谷市・岡部町・川本町・花園町が手を取り合いスタートをしてから、今年度で誕生10周年を迎えます。今年度は新市誕生10周年にちなんだイベントが開催されます。

歴史と文化が調和し、豊かな自然があふれる深谷市は、この10年間に大きく変化しました。今月は誕生10周年を迎え、ますます盛り上がる深谷とこれまでの歩み、そして、深谷のこれからについて特集します。

### 深谷市は平成28年1月1日に誕生10周年を迎えます

深谷市誕生10周年を迎える今年度、市民の皆さんと一緒に祝い、さらなる発展のため、市では1年を通して、さまざまな記念事業を実施していきます。

**深谷市歌・市民大運動会・市制10周年記念記録映画**

その中心が、市民の皆さんとの協働による『深谷市歌』の制定と『深谷市民大運動会』の実施、『市制10周年記念記録映画』の制作です。

これらの記念事業でこれまでに以上に深谷に親しみを持ってもらい、皆さんと一緒に深谷市誕生10周年を祝っていきます。

『深谷』に親しみを持つ『ことは、普段深谷に住んでいるかたにとっては至極当然なことだろうと感じるかたも多いのではないのでしょうか。』

今回の取り組みはそんな身近な地元をより近くに感じられるようにすることを目的としています。

全市民が共有できる『作品づくり』、『瞬間づくり』を

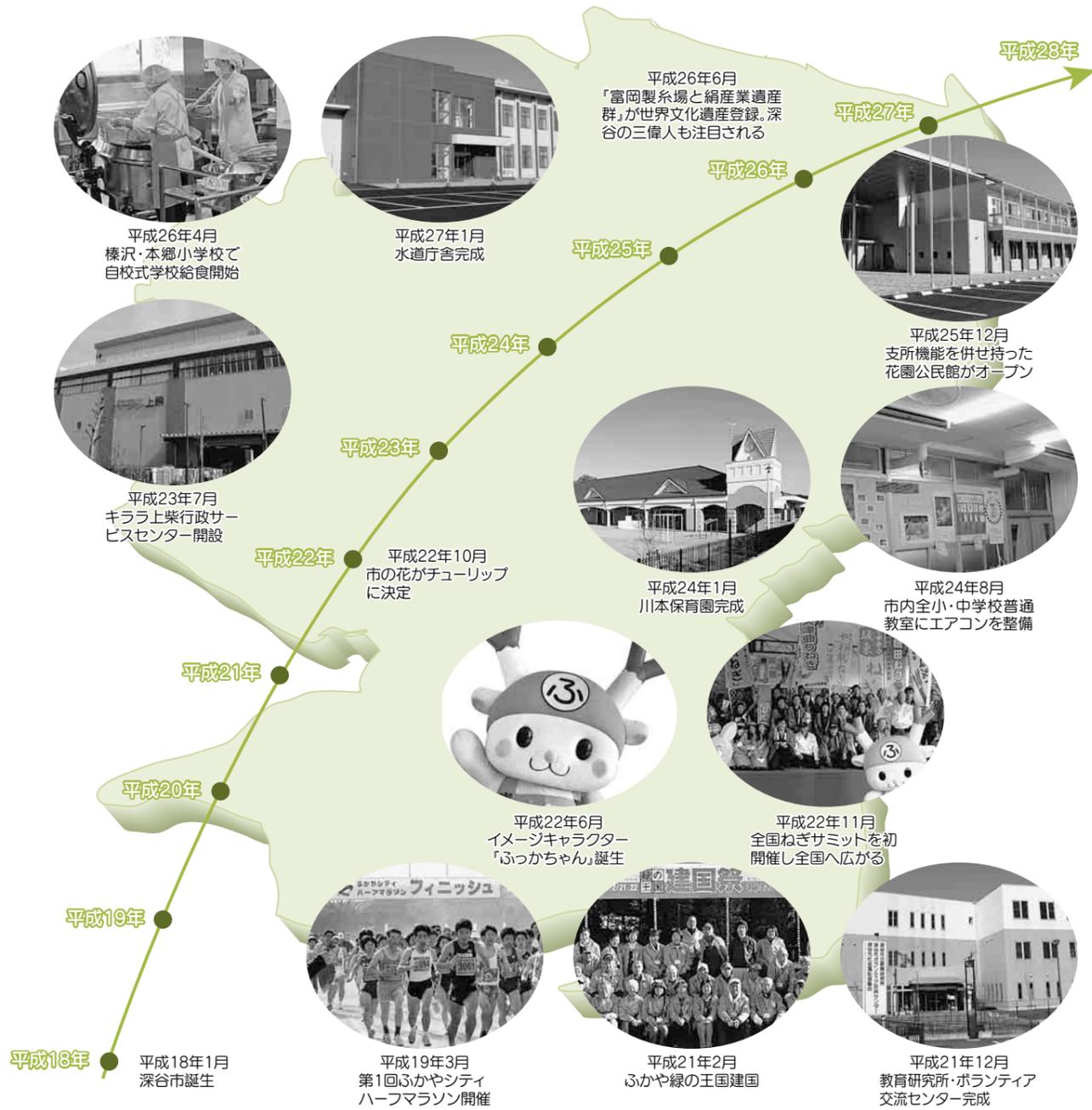
市歌や映画は、これから長く深谷市で愛される『作品づくり』を、そして、10月25日(日)の福祉健康まつりと同時開催される大運動会では全地区が一同に会し、一緒の時間を共有できる特別な『瞬間づくり』を目指しています。

昨年度に募集した市歌は全国から64件の候補作品が集まりました。現在、今秋の発表に向けて選定委員会市内小・中学校の児童生徒の意見も参考にしながら選定を進めています。

また、映画はこれから1年をかけて、市全体を広く撮影していき、見たかたが深谷の良さを再確認できるような作品づくりを進めていきます。そして、大運動会では、これまで交流の少なかった他の地区のかたとの交流ができる場をつくり出していきます。



深谷市10年の歩み



# 変わるふかや 一緒に変えていくふかや

平成18年の新市誕生時に新たに掲げたまちの将来像は、『笑顔にあふれ活力を創出するしあわせ市民都市』。4市町がこれまで持っていた自然や文化、産業などの地域特性を生かしながら新たなまちづくりをスタートしました。

## 10年間でこんなに変わった深谷のまち

皆さんの身近な商店や建物などが、10年という年月とともにさまざまな変化をしてきたように、深谷もこの10年で大きく変化してきました。

市の取り組みに目を向けると、新市の課題は老朽化した公共施設の廃止や適正配置、道路や上下水道の設備の更新など大きな課題に取り組んだ10年でした。

また同時に、医療や子育て支援の充実、農業の振興や復興、学校・保育園などの社会資本整備などにも幅広く取り組んできました。

そして『深谷発』の取り組みが、まち全体を一層盛り上げていった10年でもありました。

## 一緒に歩む協働の試み

### 主役は『全市民』

『深谷発』の取り組みの中心はいつも『市民』の皆さんでした。その一つは『協働』のまちづくりの広がります。

『協働』とは、市民や団体、行政などがそれぞれの役割を理解し、お互いを尊重しながら協力していくことです。

例えば、年々盛り上がっている『ふかや緑の王国』は、市の取り組みのなかでも、市民協働が不可欠なものの代表です。また、市内で行うイベントでも、さまざまな団体の皆さんが、毎回新たな試みで、市内外からの来場者に新鮮な驚きを与えています。

こうした、今の深谷の盛り上がりは、今の深谷の皆さんの

力に他なりません。

これからも、市民の皆さんのもつ『深谷の底力』を生かして一緒にまちづくりを進めていきます。

## 10年後の深谷はこんなまち これからの取り組み

『花園インターチェンジ拠点整備プロジェクト』、『東京オリンピック・パラリンピックキャンペーン誘致』など、これからの10年間は今まで経験したことのないたくさんの出来事が待っています。さらに『少子高齢化』や『人口減少』など全国の市町村が共通して抱えている課題の解決にも取り組んでいかなければなりません。

平成28年1月1日に誕生10周年を迎える深谷市は、人間ていえば『小学生』です。育ちがかりの深谷市は、これからも皆さんとともに、これ以上以上の力で未来へ動き始めていきます。

新施設のここが好き・こんなところがいいね



花園公民館で活躍中  
田中利子さん  
(小前田在住)  
沖縄舞踊や花園音頭のサークル活動や会議で使い方に合わせて部屋を選ぶので、利用価値は大きいですね。公民館と向き合った市の窓口は生活を豊かにしてくれています。

峯岸ゆうこさん・瑚乃さん  
(長在家在住)  
園は設備が新しく、先生がたの手入れも行き届き、清潔で、安心して通わせることができます。園の良さは毎日楽しく通う子どもたちが一番実感していると思いますよ。



川本保育園に通園

深谷のここが好き・こんなまちになってほしい



平成26年に20歳  
佐藤大樹さん  
(田所町在住)  
近所の造り酒屋に市外からたくさんの方が来ていたので、こんな観光資源が地元にあることに驚きました。今後も昔ながらの『深谷』を大事にしたいです。

茂木麗以奈さん  
(岡部西小学校3年生)  
自然がいっぱいあるパティオや中宿公園、仙元山にあるわんぱくランドが好きです。これからも自然があって、みんなが安心して住めるまちになってほしいです。



深谷市と同級生